



らいぼぼ  
バニー  
まんが  
**R18**



「今回は  
お前と二人での  
任務か」

スコッチは  
どうした？

？



だから僕も  
貴方と二人の任務は  
流々なんですよ

スコッチは  
別任務で  
来れないんです

はあ

…なんだ



……彼は僕の  
保護者じゃないですよ

保護者がいなくて  
不満か？

バーボン

いちいちこの男は  
こゝろをよめる  
ことかー☆

それより  
今回の任務の  
概要を伝えます





「おれは仕事で片づいた」



「わざわざ心配ですか？」



「俺のは片づいた仕事は片づいた」

「……さす」



「こどもも待たせるなんて思えない……」

「俺に張り合うようにかみついでくる男が」

「まさか」



「あとはターゲットに接触していたたが、バロンとの合流を待っただけ……だが」

「あいつにしては遅くないか？」

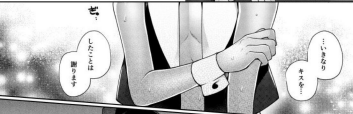


















ライ

押さへ

まっ...



おえ...

待ってってば



こんな時でも  
囁る口はんだな

な...



ん...

...





「簡単だ」

お前を抱く

パーボン

何...

「お前を抱く...」

「アッ...」

「何...」







……僕のこと  
ないんじゃないですか

貴方



第一ここに居たのも  
不思議に思っています

僕のことを  
置いていけば  
貴方は逃げられます



……君を  
助けるためだよ

バーボン



……僕がお前を



置いていきた  
くなかっただけだ



なのに……

助けるなんて……



貴方だって  
危険があるでしょう？























あああ

これ以上は……

気持ち良すぎて  
どうにかなっちゃう

……

……

……

……

……

……

……



そんなに欲しいなら  
たくさん注いで  
やらんとな……ッ

びしょ濡れ

びしょ濡れ

びしょ濡れ

びしょ濡れ



「...」

「...」

「...」

「...」

「...」

「...」

「...」

「...」

「...」

「...」

「...」

「...」

「...」

「...」

「...」

「...」











ええ

昔、僕が  
悪趣味な貴麗家の  
情婦を探りにいつたことが  
あったでしょう



…それで

夢に出て  
きたのか？



…君が麗を  
雇われたあの時か



あつたんです

何？



以前から貴方に好んで抱えていました

一度試してみたいと思ってたので

目を背けていたけれど……



さっちゃん……

貴方の……

好きだって確信しました



ライは……赤井はそれを愛いだ

……そして貴方に愛情を寄せようと思いましたが



自分の気持ちから目を背けられないくらいに……

貴方に惹かれてる自分になった気づいてしまった



ええ

……あの時の判断は正しかったと思います



……それでもしにないといけないと思った

君の心を……あんな形で聞かされたから







ライの心境についての補足(うまく描けてなかった部分です…)

ライはバーボンのことを気にかけてはいたが  
 結局に潜り中ということもあまり理解させるほうが逆に苦しいのと  
 思い突き放すような態度をとっていました。  
 ですがほんの少しだけ、一瞬でもほんとはバーボンのことを  
 懸っていた一面見せてくれたらいいなど。  
 ここまでお読みいただきありがとうございます！